

Light It Up Blue MUKOJO!2024

～武庫女を青く照らそう!～

4月2日は世界自閉症啓発デーと国連で定められ、その日から1週間の発達障害啓発週間、Light It Up Blueとして世界中の主なランドマークが青くライトアップされます。武庫川女子大学では、2019年から毎年、ライトアップと市民公開講座を開催しています。今回の市民公開講座のテーマは、DCD（発達性協調運動障害）です。「ぶきっちょ」「運動音痴」など協調の問題は体育や書字、音楽、図工・家庭科、姿勢など誰でも外から見えてしまいます。しかし、日本では、その極端な例がDCDという神経発達障害であるという理解が非常に低く、やる気の問題、練習不足などとされ、嘲笑やいじめ、精神論・根性論による叱責や反復練習など不適切な対応につながってしまっています。DCDは子どもの社会性、情緒、学習、自尊感情に深く関係することから、早期の気づきと適切な支援が必要です。私達ができることは何か、みなさまと一緒に考える機会にしたいと思っています。多数のご参加をお待ちしております。

ブルーライトアップ

4月2日(火)～8日(月)

会場：中央キャンパス 研究所棟
研究所棟がブルーにライトアップされます。



市民公開講座

DCD(発達性協調運動障害)

～見えているのに理解されない神経発達障害～

3月30日(土)

入場無料(会場定員100名) 要事前申込

13:00～16:00(受付 12:30より)
会場：中央キャンパス 公江記念ホール

ハイブリッド(会場+Zoomによるオンライン・ライブ配信)により開催予定です。
(新型コロナウイルス感染症の状況によりオンライン開催のみとなる可能性があります)

申込フォームはこちら ▶▶▶

必要事項を入力し、送信してください。
受付確認メールを送信いたします。
なお、いただいた情報は、今回の市民講座のご案内にのみ使用し、厳重に管理いたします。



不器用なのは身体?脳?

～脳科学からDCDのある子どもを理解し支援する～



中井 昭夫

武庫川女子大学 教育研究所・教授 /
大学院 臨床教育学研究科・専攻長

医学博士、小児科専門医、子どものこころ専門医、公認心理師、臨床発達心理士。1986年福井医科大学卒業、1991年 同大学院博士課程修了。福井医科大学小児科助教、福井県こども療育センター主任医長、福井大学「子どものこころの発達研究センター」特命准教授、兵庫県立子どもの睡眠と発達医療センター副センター長などを経て、2018年より現職。

日本学術会議連携会員、国際DCD研究・支援学会(ISRA-DCD)日本代表委員、日本DCD学会、日本子ども学会、日本発達神経科学会、NPO法人AOZORA福井の各理事などを務める。DCDに関する主な著書に『発達障害児支援とアセスメントのガイドライン』(2014 金子書房)、『発達性協調運動障害-不器用さのある子どもの理解と支援-』(2019 金子書房)、『発達性協調運動障害(DCD)の理解と支援』(2019丸善出版)、『イラストでわかるDCDの子どものサポートガイド～不器用さのある子の「できた」が増える134のヒントと45の知識～』(2022 合同出版)など多数。

DCDのある子どもへの生活支援

～支援のポイントと今日からできること～



東恩納 拓也

東京家政大学健康科学部
リハビリテーション学科・助教

博士(医学)、作業療法士、特別支援教育士。2014年長崎大学卒業、2020年同大学院博士課程修了。国立病院機構長崎病院、みさかえの園総合発達医療福祉センターむつみの家を経て、2021年より現職。日本発達系作業療法学会 幹事などを務める。DCDに関する主な著書に『運動の不器用さがある子どもへのアプローチ:作業療法士が考えるDCD<発達性協調運動症>』(2022クリエイツかもがわ)、『DCD・不器用な子どもも楽しめるスポーツがある社会のために:運動に悩む子・先生・コーチへのメッセージ』(2022金子書房)、『発達をうながすハンドリング-生活動作の介助のポイント』(2022三輪書店)など多数。

主催 武庫川女子大学教育研究所 / 子ども発達科学研究センター

お問い合わせ

武庫川女子大学 教育研究所

MAIL

rinky@mukogawa-u.ac.jp